

RIETI 政策シンポジウム

# ブロードバンド時代の制度設計

2003年12月4日

総務省国際経済課長 鈴木茂樹

# 電気通信市場における規制の現状

- 1 電気通信事業法の改正(2003年7月)による抜本的な規制緩和
  - 1) 参入の自由化、柔軟化  
参入許可制度の廃止、第一種及び第二種の事業者区分の廃止、退出許可制の廃止 等
  - 2) 事業活動の自由化
    - ア 非支配的事業者に係る料金・約款の作成・届出義務の原則廃止
    - イ 非支配的事業者に係る接続協定の事前届出制度の廃止 等
  - 3) 支配的事業者に係る非対称規制の維持
    - ア 接続義務(接続約款の作成、届出及び公表義務)、アンバンドリング義務及びコロケーション義務
    - イ 競争阻害行為の禁止 等
- 2 競争条件の整備
  - 1) 紛争処理制度の機能発揮
  - 2) 事業者事前選択制度の維持
  - 3) 番号ポータビリティの確保
  - 4) NTT再編(1996年12月)等
- 3 社会的要請への対応
  - 1) ユニバーサル・サービス基金制度の維持
  - 2) 通信網の安全性・信頼性・相互接続性の確保
  - 3) 利用者保護ルールの整備 等

# ネットワーク産業の特色

- 1 規模の経済性
- 2 範囲の経済性
- 3 ネットワーク外部性  
相互接続義務
- 4 不可欠設備(エッセンシャル・ファシリティ)性  
開放義務
- 5 コンテストアビリティー  
インフラとサービスの区分(サウコストの差)
- 6 サービスの公益性  
ユニバーサル・サービスの確保

# ネットワーク産業の競争を検討する上での視点

## 1 ネットワークの各層

- ・ インフラ
- ・ サービス
- ・ アプリケーション
- ・ コンテンツ 等

## 2 ネットワークの範囲・部分

- ・ 地域網・中継網、地上網・衛星網、固定網・移動網、有線網・無線網 等

## 3 産業間関係

- ・ 電力・鉄道等の独占的ネットワーク産業分野からの電気通信分野への参入
- ・ 事業の垂直的統合(インフラ+サービス+プラットフォーム+コンテンツ)

## 4 資源配分の希少性

- ・ 周波数、番号 等
- ・ 道路占用権等の公益事業特権

## 5 技術革新の加速

## 6 その他規制

- ・ 道路工事規制、ビル工事規制 発電機設置規制 等

# 規制の在り方

- 1 市場の競争状況の評価  
市場の確定、評価をどこまで有効に成しうるか？
- 2 事前規制と事後規制の在り方
  - 1) ネットワーク産業の性格を考慮すると、事前の規制なしには全ての分野における競争はありえない？
  - 2) 公益事業特権、道路工事規制等を考慮すると、ネットワーク・インフラにおいて完全競争に近い状況は実現するのか？
  - 3) 周波数の有限性、番号付与可能性等を考慮すると、無線分野における完全競争も期待できるのか？  
等
- 3 競争政策がすべてに優先するのか？
  - 1) 競争政策は、重要ではあるが政府の政策の一部（手段）。
  - 2) インフラの全国提供や高度化の必要性を考慮した競争政策
  - 3) ユニバーサル・サービスの確保、セキュリティ確保など高度情報社会の実現に向けての政府の政策目標と整合性を考慮する必要があるのではないか？
- 4 最適解は一つか？
  - 1) 社会的厚生最大化、産業の発展、雇用の確保及び経済の持続的成長などすべての政策目標を考慮に入れると、国毎の状況に合った解がある。
  - 2) 日本としては、ブロードバンドやモバイル・インターネットの飛躍的発展という新たな状況の中で、規制改革のフロンティアにたってきた米国や西欧諸国の経験を踏まえ、諸外国政府、事業者及び学会等と協力して取り組む。